

賽銭箱の発注、製作、セットについて

ご賽銭は神仏より受けた福に報いるお供え物として現在ではお参りの際に金銭を賽銭箱に入れております。また、寺院への寄進という意味も合わせ持っているようです。そこで、今回は賽銭箱についての施工状況をまとめてみました。

1. 材質

ケヤキを昔から使われておりますが、乾燥材で確保するため、納期に2ヶ月位かかり、高価なものであります。

そこで、価格的にも入手し易い栓でケヤキ色での塗装仕上げで受けるケースが多いようです。それでも納期1ヶ月程かかります。今回は栓で製作いたします。

2. 形

長方形の箱型が一般的ですが、屋根付き型、4本脚、6本脚等様々です。

今回は指定寸法の長方形です。

3. 文字書き、彫字

表側に“賽銭”、“賽銭箱”、“奉納”、“奉賽”、“浄財”等文字が記入されています。また、何も書いていないこともあります。

一般的に多いのが“賽銭”、“賽銭箱”です。寺院では“浄財”と書かれたものが多いようです。

裏面、側面には奉納年月日、奉納者の名前を書くこともあります。

文字の色は赤文字指定、黒文字指定とか様々です。特に、決まりごとが無いようです。

書体についても同様に決まりごとが無く、打ち合わせ時に確認するしかありません。

今回は赤字のエナメル書きで楷書体となりました。

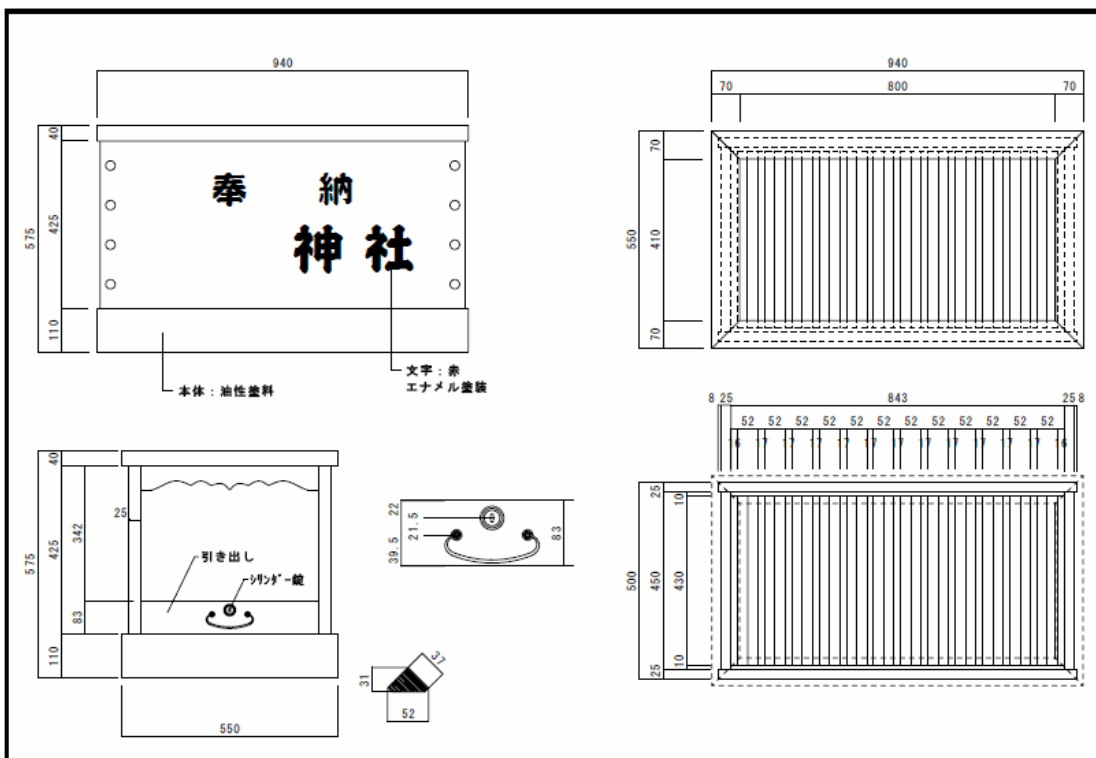
4. 安全対策

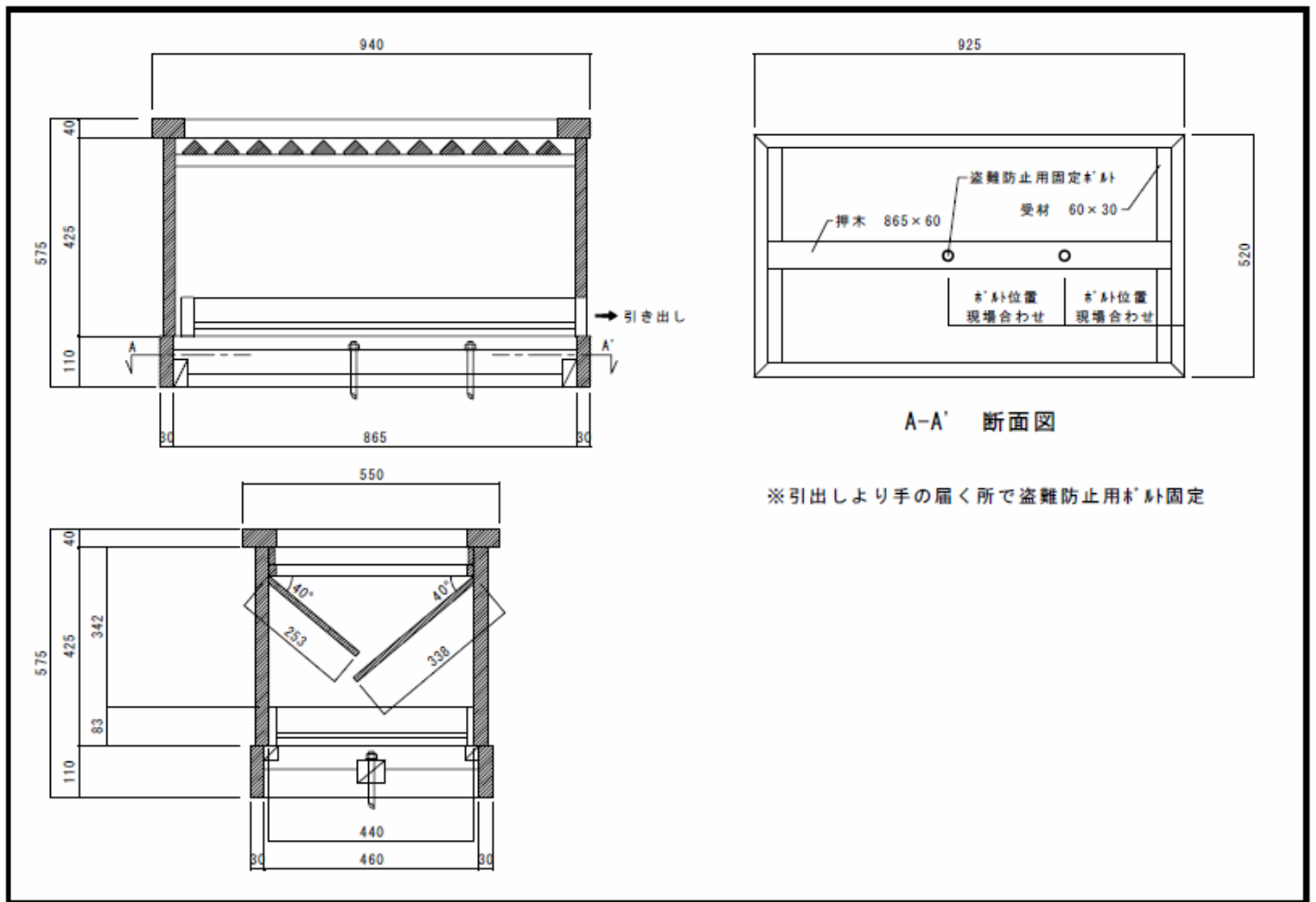
賽銭受けの引き出し部は鍵付きですが、毎日毎日のこまめな賽銭の回収が一番です。

荒っぽい仕業で賽銭箱ごとの盗難も有り、アンカーボルトにて固定指示もあります。

今回はボルト固定で、引き出しシリンダー錠です。

以上の条件、仕様により製作図面を作成いたしました。





賽銭受け引きだし部の仕上がり確認です。
また、シリンダー錠の掛かり具合の確認も致します。



賽銭受け引き出し状況です。



上面の賽銭投入口の状況です。



賽銭投入部内部状況です。このスロープに参拝者の気持ちが賽銭となり転がり込んでいきます。そして、引き出しの中に納まります。



賽銭箱台輪部は引き出しの干渉しないようにボルトを台輪内にもぐらせて締めこむように固定位置を事前に決めておきます。



賽銭箱の位置だして神社の間口柱のセンターと賽銭箱センターを実際に置いて合わせて墨出してアンカー位置を振動ドリルにて穴あけし、アンカーを打ち込み、全ネジ棒を所定の長さでカットし、ネジ棒をネジ込んでおきます。



台輪の下面には t 5 mm の環境変化に強いゴムを貼りコンクリート面の凹凸の吸収と水対策としてしました。

ここにアンカーボルトの穴を二箇所開けます。



ボルトに注意しながら賽銭箱を
墨だし位置にセットしワッシャー、
ナットにて固定いたします。



取り付け完了状況です。

これで、7月初めのお祭りに何とか間に合いました。

また、取り付けの際にも氏子さん達が寄ってきて賽銭箱の出来栄を確認しておられました。

そして、この賽銭箱が今後何十年と雨風に耐え活躍されることを祈っています。

最後に製作、資料提供にご協力いただきました(有)早川産業様に感謝いたします。

(株)マルダイ 家具部 Da・Monde 鈴木 平成 22 年 7 月 12 日